

【別紙様式】

平成28年度 津山市立（ 中正 ）小学校

改善プラン「平成28年度全国及び岡山県学力・学習状況調査」今後の取組について進捗状況（年度末）

| | | | |
|----------------|---|--|--|
| 津山市 達成目標 | これまでの取組やたしかめテスト等から 【平成29年度全科目で岡山県平均点を超える】見込み | 算数AB・・・Aでは「量と測定」、Bでは「図形」 国語AB・・・Aでは「書くことや読むこと」、Bでは「話すことや聞くこと」 | |
| | 学校の取組・改善方法（課題に対する改善方法） | 進捗状況 | 来年度へ向けて（具体的な達成目標・数値目標） |
| 市全 体の 取組 | ○「問題データベース」を活用し、課題のあった類似問題や基本・応用問題を取り上げ、学力の向上を図る。 | A | ○全学年で問題データベースを使用した。各単元での基本問題を解くだけでなく、実力テストをした後で個に応じたたしかめ問題やチャレンジ問題を選択しながら取り組ませた。また、放課後学習では、理解の遅れている児童には下学年の問題からの復習することで学力の向上を図ることができた。 |
| ① | ○「どんどんチャレンジ」（算数）の進行状況を把握し、遅れている児童の個別指導も行う。 | A | ○インフルエンザのため予定より1回少なくなった。全員が該当学年の全問題を終えることはできなかったが、多くの基本問題をすることで学力の向上が図れた。 |
| ② | ○児童アンケートを実施し「授業の楽しさ」「勉強のがんばり」「発表」などを意識させたり、校内研究として授業公開を行い、よりよい授業をめざしたりする。 | A | ○アンケート結果が85%を超え、楽しく授業をし、勉強をがんばっていることがわかった。 ○公開授業や講演で得た指導法などを授業に取り入れ、よりよい授業になるように研修を進めることができた。 |
| ③ | ○学期ごとの市販テスト（まとめ）により検証する。また、国語と算数については、標準学力検査も実施する。 | A | ○市販テストで間違えた問題については、類似問題をすることで底上げをすることができた。 ○NRT実施の学年は、結果がわかり次第、課題点を改善するよう指導していきたい。 |

※進捗状況・「S：目標を大きく上回った（100%を超えている）」「A：目標を十分達成できた（85%以上100%未満）」「B：目標を概ね達成できた（70%以上85%未満）」
 「C：目標をある程度達成できた（50%以上70%未満）」「D：目標をあまり達成できなかった（30%以上50%未満）」「E：目標を達成できなかった（30%未満）」